

教科名	情報	校 種	高校
-----	----	-----	----

科 目 の 配 当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など，授業の形態
2 年	情報 I	必	2	

科目名（教科名）		情報Ⅰ（情報科）				
学年		2	単位数	2	必修・選択・展開	必修
目的	1. 情報を活用するための知識と技術の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養う。（知識・理解） 2. 社会の中で情報および情報技術が果たしている役割や影響を理解する。（思考・判断・表現、技能） 3. 情報社会の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。（関心・意欲・態度）					
学 期	授 業 の 項 目				内 容	
1 学 期	第1章 情報社会の問題解決 1. 情報とメディア 2. 問題解決の考え方 3. 知的財産権と個人情報 4. 情報セキュリティ 第2章 コミュニケーションと情報デザイン 1. メディアとコミュニケーション 2. 情報のデジタル化				・情報科で学ぶ事柄について「導入の実習→知識→課題」のサイクルで内容について理解する ・問題解決の考え方については実習を通して理解する	
	3. 情報デザイン 第3章 コンピュータとプログラミング 1. コンピュータのしくみ 2. アルゴリズムとプログラム 3. モデル化とシミュレーション				・情報デザインは基本的知識を学んだあと、実習で理解する ・プログラミングはScratch→Python→ロボットプログラミング実習と体験的に理解する ・シミュレーションもプログラミングを通じて体験的に理解する	
2 学 期	3. 情報デザイン 第3章 コンピュータとプログラミング 1. コンピュータのしくみ 2. アルゴリズムとプログラム 3. モデル化とシミュレーション				・情報デザインは基本的知識を学んだあと、実習で理解する ・プログラミングはScratch→Python→ロボットプログラミング実習と体験的に理解する ・シミュレーションもプログラミングを通じて体験的に理解する	
3 学 期	第4章 ネットワークとデータ活用 1. ネットワークのしくみ 2. 情報システムとデータベース 3. データの活用				・データの活用については基本的知識を学んだあと、実習を通じて理解する	
評価の 観点	【知識・技能】 (30%)	情報技術に対して自分との関わりを理解し、情報を科学的に処理する手法を学べたか、問題解決の手段としてコンピュータ操作技術や情報処理手法を習得できたか				課題やレポートの評価
	【思考・判断力・表現】 (40%)	様々な事象と情報の結びつきを理解し問題解決に適切に情報を活用しているか				プレゼン・発表 課題やレポートに対する工夫
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	情報社会に主体的に参画する態度がみられるか				授業態度 グループワークや宿題に対する取り組み
評価の方法と割合	● 評価方法：定期試験は行わず、実習の中の下書き・企画書・レポート・発表・作品などに評価観点を設け、評価を行う。（生徒による相互評価も参考とする） ● 割合：ワークシート・レポートの記入・発表・作品と授業参加態度で総合評価する					
教科書・副教材等	● 教科書：「情報Ⅰ」（日本文教出版） ● 副教材：「ベストフィット情報Ⅰ」（実教出版）					